

再発見memo



昭和のくらし博物館

戦後の庶民のくらしを語り伝え生活資料を残すため、国の有形文化財の民家がそのまま博物館に。
開館時間:10~17時 / 休館日:月・火曜
入館料:大人500円・高校生以下300円
問合せ:03-3750-1808

蓮光院

焼け残った山門の武家屋敷門は江戸時代末期の建築で都有形文化財。

妙蓮塚三体地藏尊

矢口の渡で新田義興公に殉じた13人の家臣のうち、3人は潜水して対岸の数百の敵中に斬りこみ討ち死にした。村老たちがこの3人の遺体をこの地に葬り霊を慰め、妙蓮という尼僧がこの三勇士のために地藏尊を建立した。

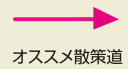
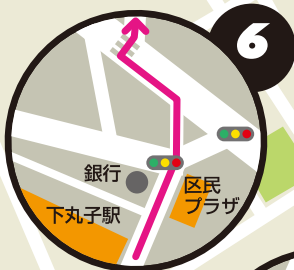
頓兵衛地藏

矢口の渡の渡守の船頭が蔵尊を建立し霊を供養したと伝えられている。この頓兵衛という名は浄瑠璃「神霊矢口渡」に登場する船頭の名で、平賀源内が付けたもの。また別名「とろけ地藏」とも呼ばれ、石体が溶けて崩れているのは、義興公の祟りによるものと伝えられている。

大田の魅力 再発見

下丸子ウォーク

Shimomaruko



オススメ散策道



多摩川

大田観光協会刊
(2008年10月)

再発見memo



新田神社

矢口の渡で謀殺された新田義興の御霊を鎮めるため1358年に新田大明神を祀った。江戸時代に境内の竹で平賀源内が「矢守(破魔矢の元祖)」を考案。また2007年に始まった多摩川アートラインプロジェクトの作品も境内に展示されており、約650年経った今も地域に親しまれている。

十寄神社

矢口の渡で戦死した義興の家臣10人を祀っている。江戸時代には十寄神社~新田神社の順で参詣すると願い事が成就するといわれた。